

岡山県スポーツ推進計画 素案（たたき台）の概要

I 作成にあたっての留意点

- 第1回審議会に諮った骨子案（たたき台）をベースに作成した。
- 現在の岡山県スポーツ推進計画（以下、「現計画」とする。）をベースに、施策の現状、国の第2期スポーツ基本計画（以下、「国計画」とする。）や東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定等、状況の変化を踏まえている。
- 現計画から継続する内容についても、時点修正や、わかりやすい文章となるよう修正した。
- 数値目標は、次回の審議会でお示しする。

II 素案（たたき台）の概要

第1章 計画の概要

1 見直しの趣旨

現計画と同様に、岡山県スポーツ推進条例の制定や「スポーツ立県おかやま」宣言等これまでの経緯や、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定をはじめとする近年の動き等、見直しの趣旨・背景を記載した。

2 計画の位置付け

現計画と同様に、スポーツ基本法、岡山県スポーツ推進条例や本県の総合計画における位置づけを記載した。

3 計画の期間

見直し後の計画期間を追記した。

第2章 スポーツの現状 【新規】

1 スポーツの意義

現計画は記載なし。スポーツの重要性を広めるため、スポーツ基本法をベースに記載した。

2 本県におけるスポーツの現状

現計画は記載なし。現計画の策定後5年間を踏まえた現状を記載した。

第3章 岡山県が目指す姿

1 目標

目標をより分かりやすく伝えられるよう、スローガンを見直す。

＜目標＞

「スポーツ立県おかやま」の実現

＜スローガン（案）＞

「する」「みる」「ささえる」すべての県民がスポーツで笑顔輝く生き活き
岡山

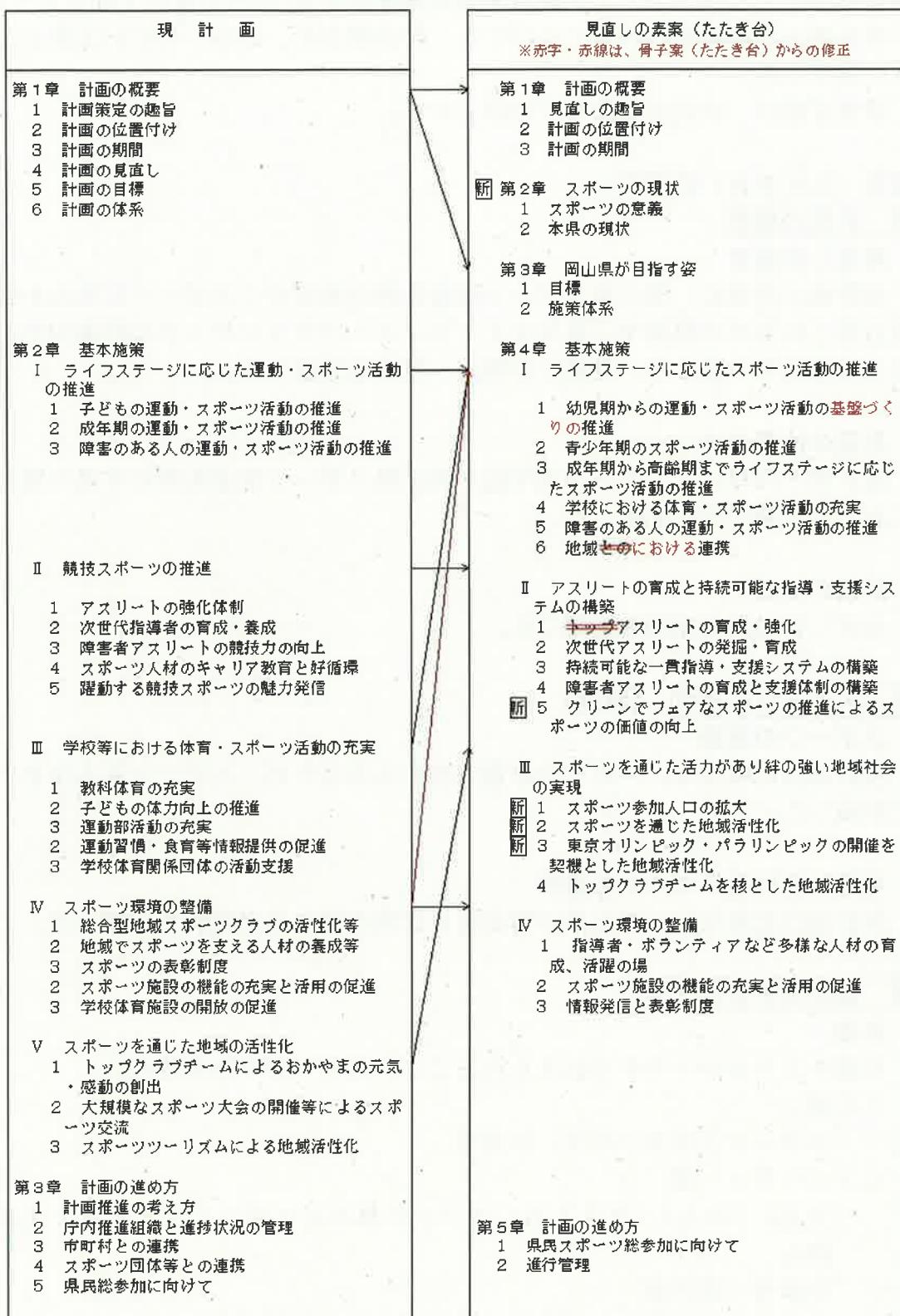
※参考（現計画）

スポーツによる人づくり、健康づくり、地域づくり

2 施策体系

国の第2期スポーツ推進計画も踏まえ、時代の変化に合うようにわかりやすくするため、基本施策を5つ→4つとした。

岡山県スポーツ推進計画の構成



第4章 基本施策

※素案（たたき台）では、特に注目する項目を●で表示している。

基本施策Ⅰ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

～生涯スポーツの推進（幼児期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進）～

1 幼児期からの運動・スポーツ活動の基盤づくりの推進

- ・現計画と同様に、幼児期（本計画では概ね6歳まで）の重要性を記載
- ・幼児期に多様な動きを身につける方策として、新たに「アクティブ・チャイルド・プログラム」の普及を記載

2 青少年期のスポーツ活動の推進

- ・現計画と同様に、青少年期（本計画では概ね7歳～18歳）の重要性を記載
- ・子どもがスポーツに取り組む機会の拡大方策として、総合型地域スポーツクラブ等との連携やトップクラブチームの活用を記載

3 成年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・現計画と同様に、運動不足になりがちな働く世代や高齢者がスポーツに取り組む重要性を記載
- ・スポーツに取り組む機会が少ない人、そもそも興味がない人等への情報提供等について記載

4 学校における体育・スポーツ活動の充実

- ・現計画では基本施策としていたが、ライフステージに応じたスポーツ活動に統合した。
- ・重要性はそのままに、平成32年度から順次実施される学習指導要領や運動部活動の状況等を反映して記載

5 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進

- ・現計画と同様に、障害のある人が運動・スポーツに取り組む重要性を記載
- ・障害者スポーツへの理解を深め、障害のある人がスポーツに参加する機会の確保、指導者の養成等を記載

6 地域における連携

- ・現計画から基本施策のカテゴリを変更
- ・総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員等地域で活躍する主体との連携、わがまちスポーツの推進を記載

**基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築
～競技スポーツの推進（チーム岡山競技力の向上）～**

1 アスリートの育成・強化

- ・現計画を引き継ぐとともに、東京オリンピックに向けてのトップアスリート及びトップを目指すアスリートの強化を新たに記載

2 次世代アスリートの発掘・育成

- ・小学生、中学生、高校生という次世代アスリートについて新たに項目を設定
- ・学校と連携した次世代アスリートの効果的な発掘・育成、競技転換等の促進を記載

3 持続可能な一貫指導・支援システムの構築

- ・現計画を引き継ぎつつ、国策定のコーチ育成プログラムの普及やアスリートのUターン支援を新たに記載

4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築

- ・現計画を引き継ぎ、障害者アスリートの育成や競技力の向上、指導者の育成について記載

5 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上【新規】

- ・近年、国内においてアスリート等による違法行為の問題が発生したこと、国計画において明記されたことも踏まえ、新たに記載
- ・ドーピングや不正行為等の未然防止、フェアプレー精神の普及等を記載

**基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現
～スポーツ参加人口の拡大と地域の活性化～**

1 スポーツ参加人口の拡大【新規】

- ・スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささえる」という様々な形でスポーツに関わる人々を増やす取組を記載
- ・競技種目だけでなく、ニュースポーツやレクリエーション等気軽に親しめる運動・スポーツの情報提供等

2 スポーツを通じた地域活性化【新規】

- ・おかやまマラソンをはじめ様々なスポーツイベントによって、県民がスポーツに取り組み、また、おもてなし気運の醸成等による地域活性化を記載
- ・スポーツと自然環境を組み合わせたスポーツツーリズムや、それを支援する

団体（地域スポーツコミッショナ）について記載

- 3 東京オリンピック・パラリンピック等の開催を契機とした地域活性化【新規】
 - ・東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの創出（遺産、次世代への贈りもの）、海外ナショナルチームのキャンプ、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーやフラッギングツアー等関連イベントの誘致を記載
- 4 トップクラブチームを核とした地域活性化
 - ・現計画と同様に、岡山県内を拠点に活躍するトップクラブチームへの応援気運の醸成を記載

基本施策IV スポーツ環境の整備

～スポーツの基盤となる「人」・「場」の環境の整備～

- 1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場
 - ・現計画と同様に、スポーツ推進委員やスポーツ少年団の指導者など地域でスポーツを支える人材の育成を記載
 - ・大規模スポーツ大会等の運営ボランティアへの参加促進
- 2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進
 - ・現計画と同様に、スポーツ施設の適正な管理運営や稼働率の向上、ユニバーサルデザインに配慮した施設・整備の改修を記載
- 3 情報発信と表彰制度
 - ・現計画と同様に、ホームページ「おかやまスポーツナビ」の充実、表彰制度の充実、スポーツの価値の啓発を記載

第5章 計画の進め方

1 県民スポーツ総参加に向けて

現計画と同様に、目標の実現に向けて、それぞれの立場に期待される心がけを記載

2 進捗状況の管理

現計画と同様に、計画の進行管理体制を記載